



令和6年4月30日

新宿区立江戸川小学校

学校だより No. 701

学びを支える笑顔

副校長 田部 崇

校庭の木々の緑が日に日に鮮やかになってきています。そしてそのさわやかな緑の校庭では、子どもたちが笑顔で元気よく遊んでいます。創立119周年を迎える令和6年度がスタートして1か月が経とうとしています。1年生は、保護者の方や地域の方々に見守られながら、元気に登下校しています。給食も始まり、本格的な小学校生活が始まりました。2年生は1年生というかわいい後輩ができました。1年生を迎える会では、自分たちが育てたアサガオの種をプレゼントしました。3年生は理科と社会が新しく始まり、目を輝かせながら授業を受けていました。4年生はクラブ活動が始まりました。異学年と交流しながら自分の興味に基づく活動に意欲的に取り組んでいます。5年生は委員会活動が始まりました。6年生と協力しながら学校に通うみんなのために力を尽くしています。最高学年の6年生は登校してきた1年生の学習準備のお手伝いをしていました。また、全校朝会ではあいさつ担当として、堂々とあいさつをしています。それらの姿は、下級生の良いお手本となっています。それぞれの学年の子どもたちが、新しい学習や活動、友達や先生に出会い、新しい環境の中で多少の緊張感をもちながらがんばっていることが、日々の様子から伝わってきます。こうした新しいこととの出会いを大切にしながら、子どもたちがもっている力を存分に発揮できるよう支援してまいります。

さて、改めて子どもたちを見ると、学習や運動など、どんな活動においても伸び伸びと取り組んでいる時にこそ、自分のもっている力を存分に発揮しているものです。「伸び伸びと取り組んでいる」状態をつくりだすことができる一つの要素は、「笑顔」です。つまり、子どもたちの活動に関わる人たちが笑顔でいることが大切です。笑顔は、自分自身にも良い影響を与えるだけでなく、周りの人に安心感や勇気を与えてくれるものです。子どもたちにとっては、周りの大人が笑顔でいることが特に重要です。

本校は「笑顔あふれる江戸川小学校をめざして—子供、教職員、保護者・地域が笑顔でいる学校—」が学校経営方針の核です。子どもはもちろんのこと、教職員、保護者・地域の方々笑顔でいることは、学校が楽しく安心して過ごせる場であることの基盤となります。私たち教職員は、子どもたちが安心感をもって毎日を伸び伸びと過ごし、もっている力を存分に発揮できるように、これまで以上にたくさんの笑顔で子どもたちの学びを支えていきたいと考えています。

今は、新しい学年や新しい環境に気を張って、疲れも出始める時期かと思えます。この連休中に心と体をしっかりとリフレッシュするとともに、お子様との時間をとり、笑顔で話を聞いていただければと思います。それは今後の活動のよき原動力になるはずです。よろしくお祈りします。

5月 生活目標

健康で安全な生活をしよう

5月 給食目標

食べ物や食器を大切にしよう

校長談話室

本年度も、「校長談話室」の時間を設けていきます。今月は、5月8日(水)13日(月)10:00~12:00です。

一人でも、お誘い合わせでも、どうぞお気軽にご来校ください。(3266-1602 副校長まで) ※予約なしでも可

